学校番号	T3005

平成31年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	新家庭基礎　主体的に人生をつくる（大修館）						
副教材等	無						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業に出席し、プリントを提出すること
・考査は必ず受けること
・制作・作品の提出期限は厳守すること
・授業に集中し、積極的に参加すること
・姿勢良く座し私語をしないこと、スマートフォンなどに触らないこと

2　学習の到達目標

人の一生と家族・福祉，衣食住，消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ，家庭生活の向上を図る能力を育てる

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	主体的に生活に取り組み、家庭や地域でよりよく生きようとしている	実生活の中に起こる様々な困難や課題に対して、適切に判断し、行動することができる	家庭生活に必要な技術を身につけ、より快適に生活を送る能力を身につけている	自身の将来に向けての基礎的な知識を身につけ、社会情勢の変化に適応させながら深めることができる
評価方法	出席状況 授業態度 プリント 意見交換	授業態度 プリント 意見交換 課題の完成度	授業態度 プリント 課題の完成度	プリント 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	人の一生	自分をみつめよう	○	○	○		a：自身の生活を振り返ろうとしている b：ライフステージを学び、理解する c：自身のライフサイクルを表にすることができる	a：出席状況、授業態度 b：授業態度、プリント c：授業態度、プリント
5 6 7	家族と労働・高齢者	創りたい家族像 育児と高齢者 共に生きる 絵本を創ろう	○	○	○	○	a：働くことの意義について、意見交換に積極的に参加しようとする b：家族とはなにかを自分なりに考え、家事・育児・共働きについての考えを表現することができる b：しつけと虐待の違いを考え、意見交換の場で表現することができる c：自信の将来設計を描くことができる d：育児・幼児の心身の発達と成長について、正しく理解する	a：授業態度、意見交換 b：意見交換、課題の完成度 c：課題の完成度 d：定期考査
9 10	食生活・経済	健康な身体を作る エンゲル係数 家計のマネジメント	○	○		○	a：栄養・カロリーについて理解し、ダイエットについて考えようとする b：意見交換を通して、食生活に対する理解を深める d：食生活、税金、給料明細について理解している	a：出席状況、意見交換 b：意見交換、授業態度 d：プリント、定期考査
11 12	社会福祉・育児	社会保障制度 安心して暮らせる社会とは	○	○		○	a：皆が安心して暮らせる社会を考え、意見交換をしようとする b：皆が安心して暮らせる社会のために、自分なりの考えを持ち、表現する d：社会保障制度、公的年金、介護保険制度について、適切に理解する	a：出席状況、意見交換 b：意見交換、授業態度 d：プリント、定期考査
1 2 3	消費者としての環境問題	家族と法律 賢い消費者 自然と共に暮らす	○	○		○	a：意見交換に参加し、自分の考えを深めようとする b：家族に関すること（結婚や親子など）、消費に関すること（ローンなど）、自然に関すること（環境との共生）について意見交換をし、自分の考えを表現し、深めている d：討論のために必要な知識を正しく身につけている	a：出席状況、意見交換 b：意見交換、授業態度 d：プリント、定期考査

※表中の観点について　　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：技能　　d：知識・理解

※年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）ですべての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている